

Q&A

症状	原因	処置
保温(保冷)が効かない	中せんセットが確実に閉まっていますか?	確実に閉めてください。
	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れて いますか?	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れて ください。予熱(予冷)をするとより効果的です。
飲み物が出ない	水位管・弁セットを確実につけていますか?	確実につけてください。(P.8~9参照)
飲み物が漏れる	水位管・弁セットを確実につけていますか?	
	弁キャップが緩んでいませんか?	
飲み物が出る量が少なくなった	飲み物が少なくありませんか?	飲み物の残りの量が少なくなると、出る量が少なくな ります。
	水位管・弁セットが汚れていませんか?	お手入れしてください。直らない場合はプッシュ レバーと弁セットに破損がないか点検してください。
抽出中せんから飲み物が あふれる	メッシュパッキンセットにコーヒー粉が ついていませんか?	メッシュパッキンセットを洗い、コーヒー粉を取り のぞいてください。
	飲み物を入れすぎていませんか?	正しい量にしてください。(P.2参照)
製品をふると「シャカシャカ」 という音がする	保温(保冷)効果を高めるために、中びんに入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。 異常ではありません。	

いずれの場合にもあてはまらない場合は、品番とともに買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

仕様

品番	SY-AJ25	
実容量	2.5L	
保温効力	10時間	76℃以上
保冷効力	10時間	8℃以下

■保温効力とは、室温20℃±2℃において製品に熱湯をP.2「飲み物の位置」のイラストで示した高さまで満たし、縦置きにした状態で湯温が95℃±1℃のときから10時間放置した場合におけるその湯の温度。

■保冷効力とは、室温20℃±2℃において製品に冷水をP.2「飲み物の位置」のイラストで示した高さまで満たし、縦置きにした状態で水の温度が4℃±1℃のときから10時間放置した場合におけるその水の温度。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まず買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



フリーダイヤル
0120-345135

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ.....TEL (06) 6356-2451 (有料)
 - FAXでのお問い合わせ.....FAX (06) 6356-6143 (有料)
- 製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ホームページのご案内 象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

象印マホービン株式会社

SY-AJ25 / B



取扱説明書

真空ドリンクディスペンサー SY-AJ25 型

ご使用前に必ずお読みください。

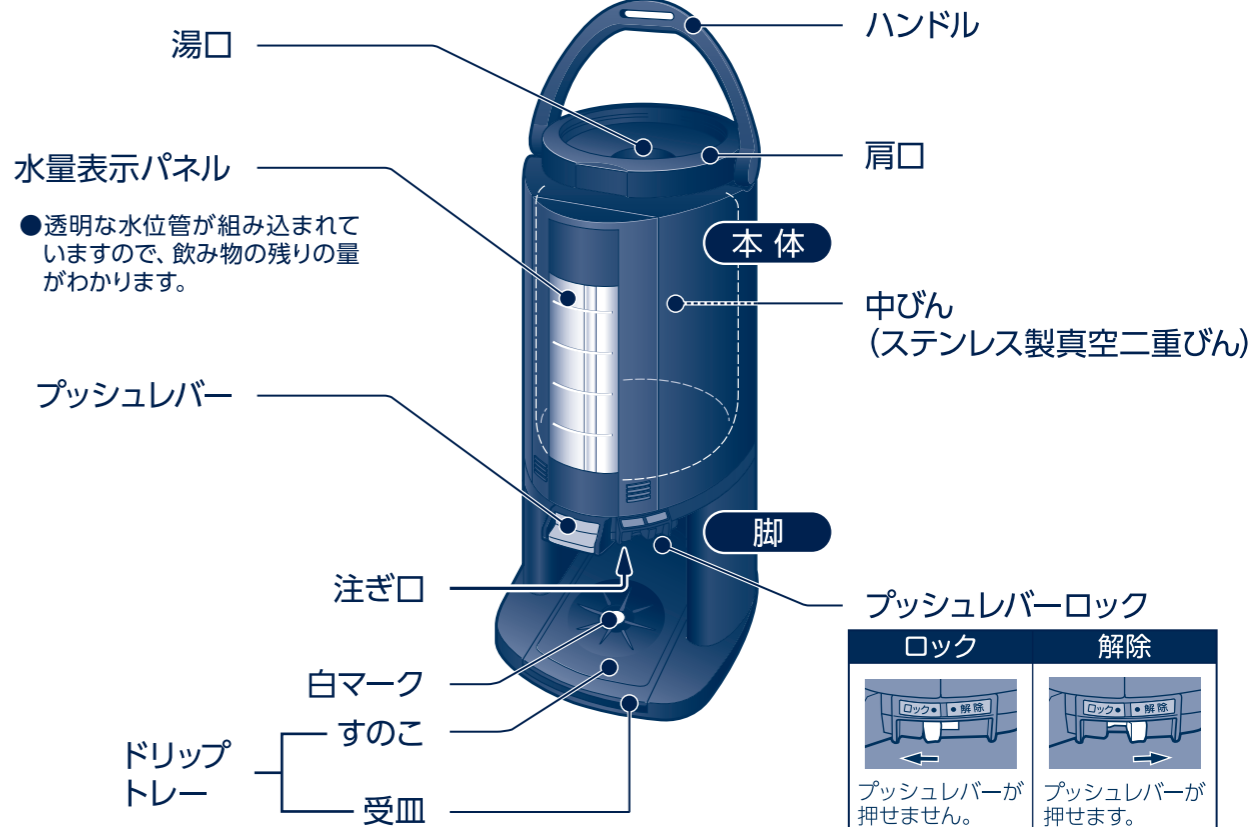
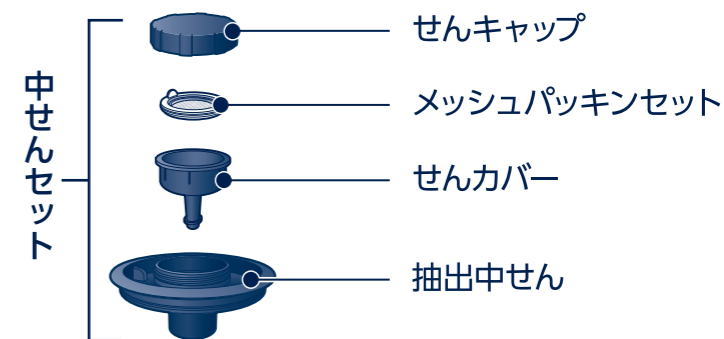
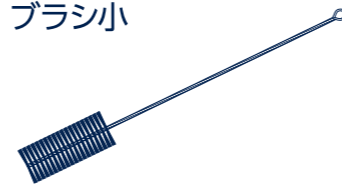
お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品がつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ

付属品

ブラシ小



●透明な水位管が組み込まれていますので、飲み物の残りの量がわかります。

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●お使いになるときは、やけど・飲み物の変質や変色・製品の故障・汚れなどを防ぐために次のことを必ずお守りください。

**乳幼児の手の届くところには置かない
また、いたずらには十分注意する**
やけど・けがなどの恐れがあります。

お手入れ以外での改造・分解修理はしない
故障・事故の原因になります。

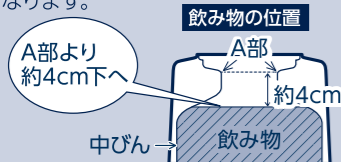
落としたり、ぶついたり、製品に強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、中びんがへこみ、保温・保冷力が低下することがあります。

脚をつけた状態で本体を持ち運ぶときは、脚レバーが確実に戻っていることを確認する
けが・破損の恐れがあります。



飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎると、中せんセットをつけたときに飲み物があふれる原因になります。



**飲み物を入れたときは、横転させない
また、横置きにしない**
やけど・汚れの原因になります。

中びんに入れる飲み物にはミルク・砂糖は入れない
腐敗・変質・目詰まりして飲み物が漏れる原因になります。

次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、中せんセットがはずせなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

●牛乳・乳飲料・果汁など

成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
さびたり保温・保冷力が低下する原因になります。

●果肉・お茶の葉など

詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

飲み物はその日のうちに飲みきる

長時間放置すると腐敗や変質の原因になります。また、腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、中せんセットをはずすときに中せんセットが飛んだり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない

飲み物を入れての保温・保冷を目的とした製品です。

保温性能が低下した製品は使用しない

熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

ストーブやコンロなど火気の近くや直射日光のあたる場所で使用しない

変形・変色の原因になります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に乗せない

火災・故障の原因になります。

中せんセットは確実につける

転倒したときに飲み物が多く漏れる原因になります。

弁セットのキャップパッキンは必ず弁キャップにつけた状態で使用する

飲み物が漏れてやけど・汚れの原因になります。

飲み物を入れたまま車などに載せての移動はしない

やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。

持ち運びの際には次のことを守る

- 必ずハンドルを持って運ぶ
- 傾けたり横にして抱きかかえたりしない
- プッシュレバーに触れない
- せんキャップや抽出中せんを持って運ばない
- プッシュレバーを確実にロックする

やけど・汚れの原因になります。

使用後はすぐに中びんをしっかりと洗う

さび・穴あき(中びん)・故障・腐敗の原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない
製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない
さび・穴あき(中びん)・故障の原因になります。
- 煮沸はしない
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷・さび・変形・故障の原因になります。
- 本体・脚・水量表示パネルの丸洗いはしない
水の浸入・さび・故障・他のものを汚す原因になります。

ご注意とお願い

熱いお茶を長時間保温するとお茶の色が変わるため、中びんには湯を入れ、急須やティーバッグなどのご利用をおすすめします。

熱い飲み物を入れるときは、熱いやかんを肩口・湯口に触れさせない
転倒によるやけど・傷・変形の原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形・故障の原因になります。

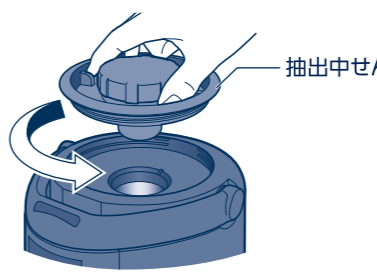
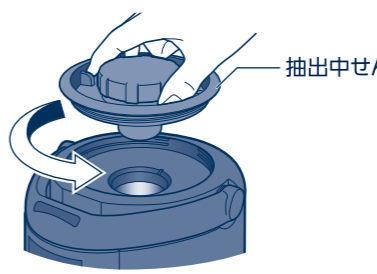

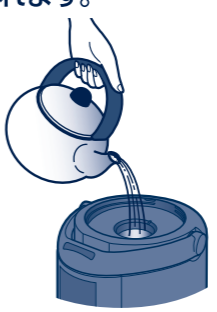
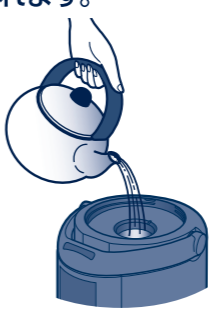
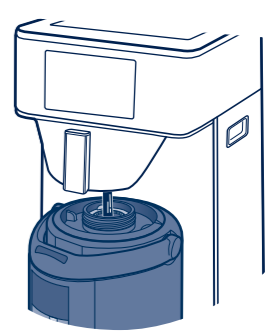
使用後は必ず中せんセット・弁セット・水位管・水位管カバー(上)(下)・下部接続チューブ・ジョイントシールゴムをきれいに洗う

放置しておく、カビ発生の原因になります。

使い方

お使いになる前に中びん・湯口・中せんセット(はずす)をぬるま湯で十分に洗ってください。

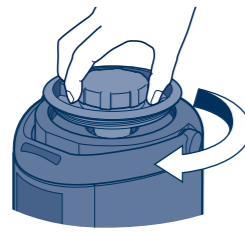
使い始めはプラスチックなどのおいがすることがありますが、ご使用ごとに少なくなります。

	やかんなどで飲み物を入れるとき	ブルーワーでコーヒーを入れるとき
<p>1 中せんセット(せんキャップ)をはずす</p> 	<p>抽出中せんを矢印の方向に回して中せんセットをはずします。</p> 	<p>せんキャップを矢印の方向に回してはずします。</p>  <p>●抽出中せんごとはずさないでください。 ●メッシュパッキンセットがついていることを確認してください。 (細かいコーヒー粉が入るのを防ぎます。)</p>
<p>2 飲み物を入れる</p>  <p>point 保温(保冷)の場合はあらかじめ少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)したあとで熱い(冷たい)飲み物を入れると保温(保冷)効果が上がります。</p>	<p>直接、中びんに飲み物が落ちるように入れます。</p> 	<p>抽出中せんの中心にコーヒーが落ちるように入れます。</p> 

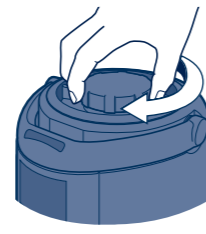
使い方 つづき

3 中せんセット (せんキャップ)をつける

抽出中せんを矢印の方向に最後まで回し、中せんセットをつけます。

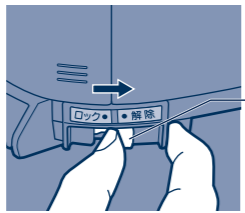


せんキャップを矢印の方向に最後まで回し、つけます。



4 プッシュレバーを解除する

プッシュレバーロックを矢印の方向へ動かし、**解除** に合わせます。

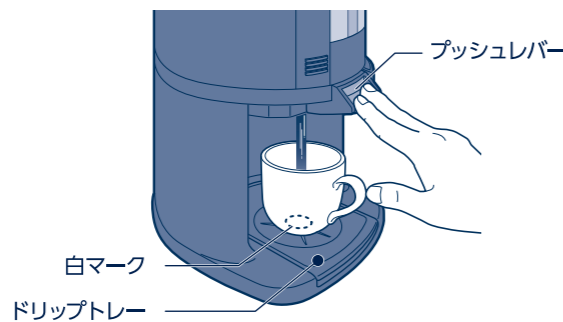


プッシュレバーロック

5 プッシュレバーを押して飲み物を注ぐ

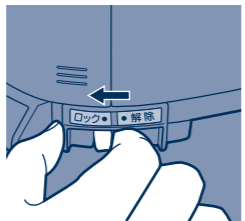
ドリフトレーの白マークに容器の中央部を合わせて置き、プッシュレバーを押します。

- 注いでいる間は水位管の圧力が下がり、水位が動きますが異常ではありません。



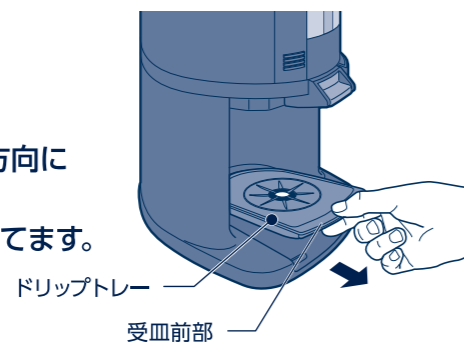
6 プッシュレバーをロックする

プッシュレバーロックを矢印の方向へ動かし、**ロック** に合わせます。



7 使用後、ドリフトレーをはずしてこぼれた飲み物を捨てる

ドリフトレーの受皿前部を持ち上げて矢印の方向にはずします。すのこをはずして、受け皿にこぼれた飲み物を捨てます。

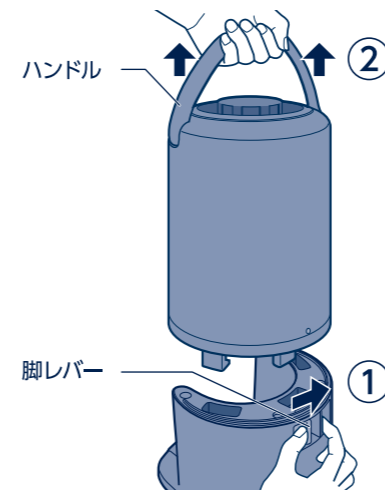


飲み物の捨て方

使用後、飲み物が残っているときは下記の方法で捨ててください。

1 本体を脚からははずす

- ①脚背面の脚レバーをつまむ
- ②本体のハンドルを立てた状態で持ち上げる



2 中せんセットをはずし、水量表示パネルが上になるように本体を傾けて、残った飲み物を捨てる

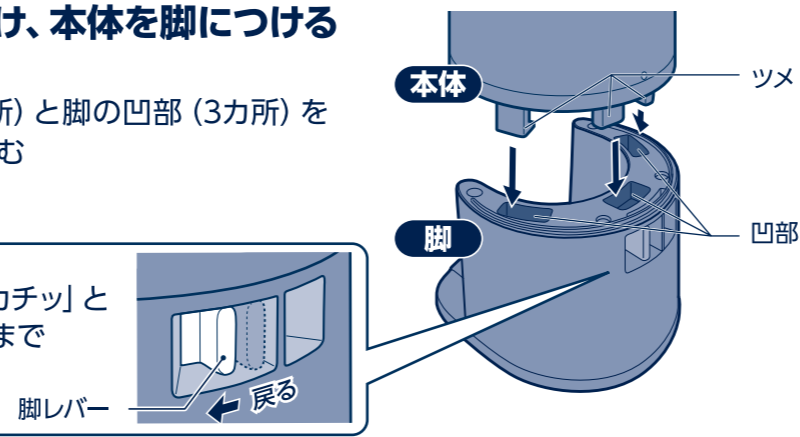
- 別の位置から飲み物を捨てると、水量表示パネルと本体の間に飲み物が入って、汚れや破損の原因になります。
- 残った飲み物や蒸気でやけどをしないように十分ご注意ください。



3 中せんセットをつけ、本体を脚につける

本体底部のツメ (3カ所) と脚の凹部 (3カ所) を合わせて上から差し込む

- 脚背面の脚レバーが「カチッ」と音がして、確実に戻るまで差し込んでください。



お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にお使いいただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.7~8参照)

ハンドル 本体外側	水量表示パネル 脚	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて汚れをふき取る ②ぬるま湯を柔らかい布に含ませてかたく絞り、ふく
中びん		①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシに含ませて軽く洗う ②ぬるま湯を入れ、2~3回すすぎ洗いをする
せんキャップ メッシュパックセット せんカバー 抽出中せん	底カバー すのこ 受皿	①台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯に浸し、スポンジで洗う ②水で十分にすすぐ
水位管カバー(上)(下) 水位管 弁キャップ 弁スプリング 弁軸 弁 下部接続チューブ ジョイントシールゴム 止め具		①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジやブラシ小(付属品)に含ませて洗う ②水で十分にすすぐ ●洗浄中は水位管がすべりやすいため、落とさないように注意してください。また、ブラシ小を水位管の中に無理に押し込まないでください。破損や傷・変形の原因になります。 ●下部接続チューブ・ジョイントシールゴムにブラシ小を無理に押し込まないでください。材質がシリコンゴムのため、破損の原因になります。

- 本体・脚・水量表示パネルは絶対に丸洗いしないでください。水が侵入し、さびが発生したり他のものを汚したりします。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- お手入れのときにははずした部品は必ず確実につけてから使用してください。やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。
- スポンジ・布は柔らかいものを使用してください。●煮沸はしないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。●食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。



赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより中びん内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せんセットをつけずに約30分~1時間置いたあと中びんの内壁をきれいに洗ってからお使いください。(上記「お手入れ」中びん参照)

茶しぶなどのお手入れ

- 中びんにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤『ピカボトル』」をお使いください。(別売品) →下記「部品の交換・購入について」参照
- ピカボトルをお使いになる場合は、中せんセットを本体からははずしてください。

- 保管するときは、ポリ袋などに入れた状態で箱に入れ、高温・多湿の場所をさけて保管してください。その際、製品が汚れていないか、よく乾燥しているかを確認してください。

部品の交換・購入について

部品名	部品番号
抽出中せん	BR115001L-01
せんカバー	BR115002L-00
せんキャップ	BR115003L-01
メッシュパックセット	BR113801G-00
ブラシ小	BR077037G-00
ステンレスボトル用洗剤 ピカボトル (10g×4包入り)	SB-ZA01

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には、製品の品番および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店で求めください。(ホームページでのご購入はP.10の「ホームページのご案内」参照)
- 中せんセットは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂がガラガラしてきたり、変色や損傷してきた場合は、いずれも交換・修理(有料)してください。
- 補修用性能部品*の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
*性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

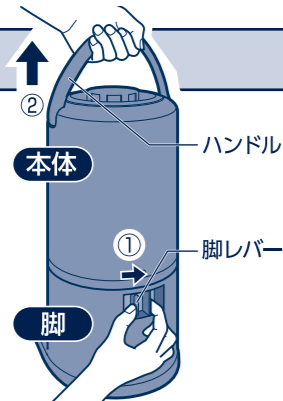
本体の分解・組立方法

- はずした部品は必ず確実につけてから使用してください。
- ご使用前に中びんに水を入れ、プッシュレバーを押し正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認してください。

分解方法

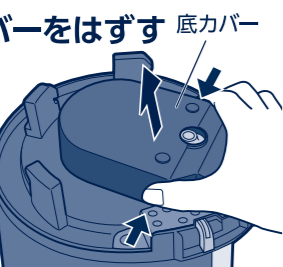
1 本体を脚からはずす

- ①脚背面の脚レバーをつまむ
- ②ハンドルを持ち、本体を持ち上げる



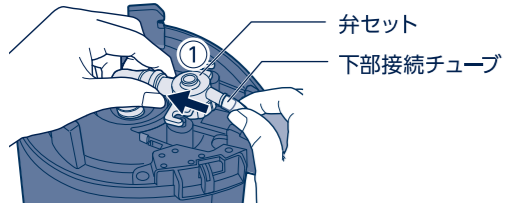
2 中せんセット・底カバーをはずす

- ①中せんセットをはずす (P.3参照)
- ②本体を逆さまにして底カバーの両側を矢印の方向へ押しながらか持ち上げる

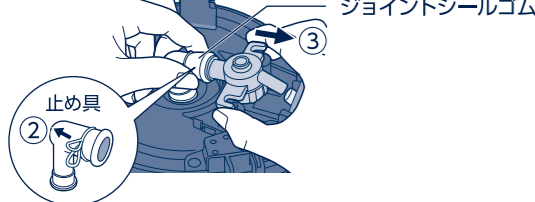


3 弁セットをはずす

- ①下部接続チューブを押さえながら、弁セットを引き抜く

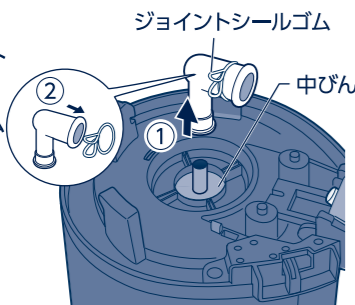


- ②止め具を矢印の方向にずらす
- ③ジョイントシールゴムを押さえながら、弁セットを引き抜く



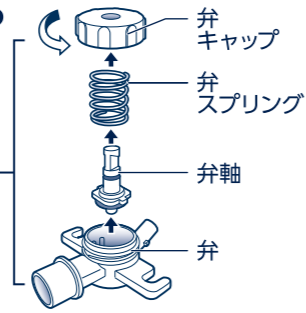
4 ジョイントシールゴム・止め具を中びんからはずす

- ①中びんからジョイントシールゴムをはずす
- ②ジョイントシールゴムから止め具をはずす



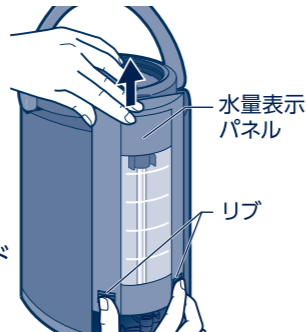
5 弁セットを弁キャップ・弁スプリング・弁軸・弁に分解する

- 弁キャップを矢印の方向に回してはずし、弁スプリング・弁軸を取り出す



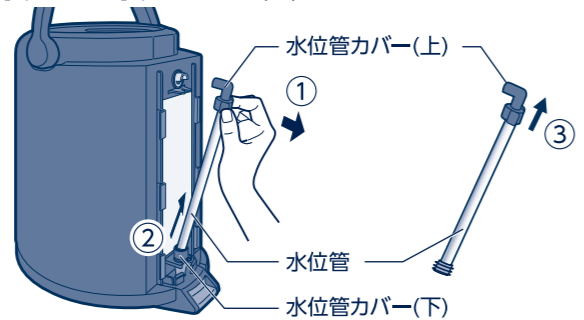
6 水量表示パネルをはずす

- ①本体の向きを元に戻し、ハンドルを立てる
- ②水量表示パネルの上部と下部のリブ(2カ所)を押さえながら上にスライドさせる



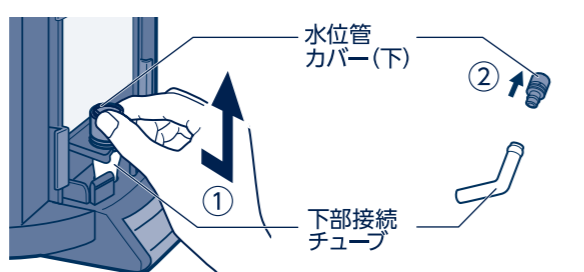
7 水位管・水位管カバー(上)をはずす

- ①水位管カバー(上)を手前に引いてはずす
- ②水位管を持ち上げて水位管カバー(下)からはずす
- ③水位管から水位管カバー(上)をはずす



8 水位管カバー(下)をはずす

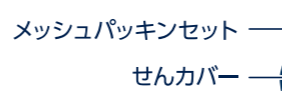
- ①水位管カバー(下)・下部接続チューブを矢印の方向に引き抜く
- ②下部接続チューブから水位管カバー(下)をはずす



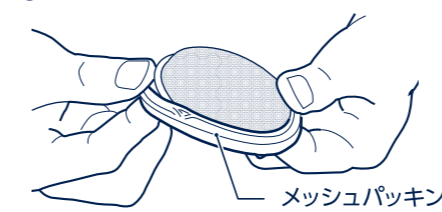
分解方法 つづき

9 メッシュパッキンをはずす

- ①中せんセットからせんキャップ・せんカバーをはずす
- ②メッシュパッキンセットをせんカバーからはずす



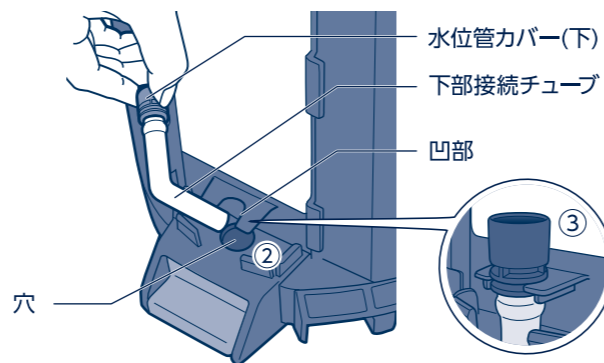
- ③メッシュパッキンをはずす



組立方法

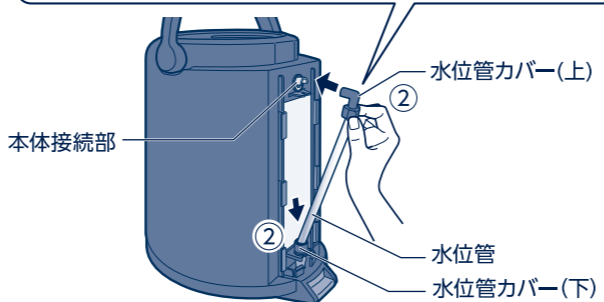
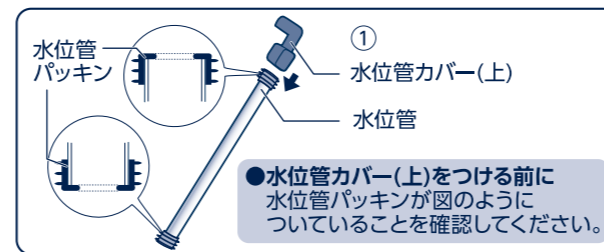
1 水位管カバー(下)をつける

- ①下部接続チューブに水位管カバー(下)をつける
- ②本体正面下部の穴に差し込む
- ③水位管カバー(下)を凹部に付ける



2 水位管・水位管カバー(上)を本体につける

- ①水位管に水位管カバー(上)をつける
- ②水位管を水位管カバー(下)に差し込んでから、水位管カバー(上)を本体接続部に差し込む

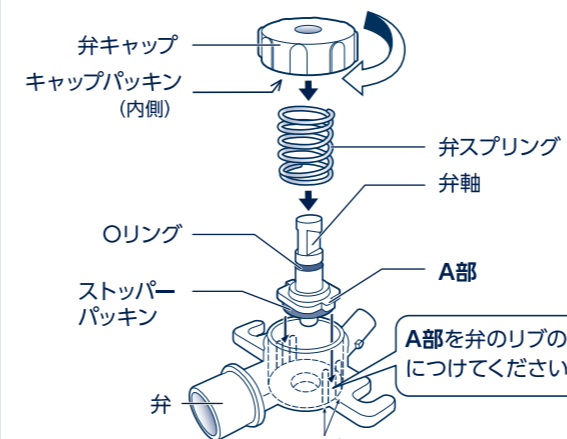


3 水量表示パネルをつける

- 分解方法「6-②」と逆の手順でつけてください。

4 弁セットを組み立てる

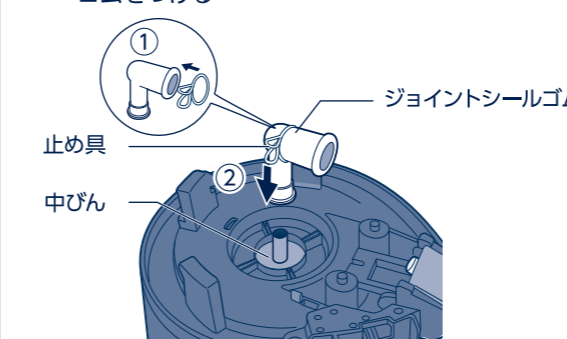
- 弁に弁軸・弁スプリングをつけて、弁キャップを矢印の方向に最後まで回してしっかり閉める



- 弁軸にストッパーパッキンとOリングが、弁キャップにはキャップパッキンがついていることを確認してください。

5 ジョイントシールゴムを中びんにつける

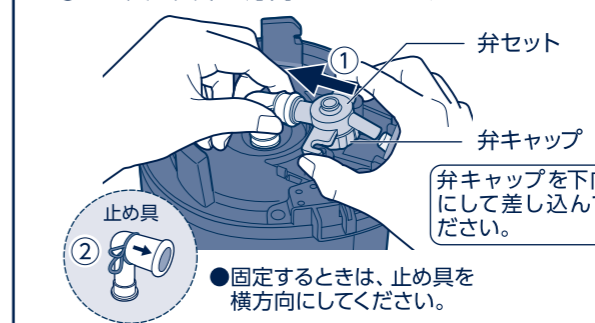
- ①止め具をジョイントシールゴムにつける
- ②本体を逆さまにして中びんにジョイントシールゴムをつける



組立方法 つづき

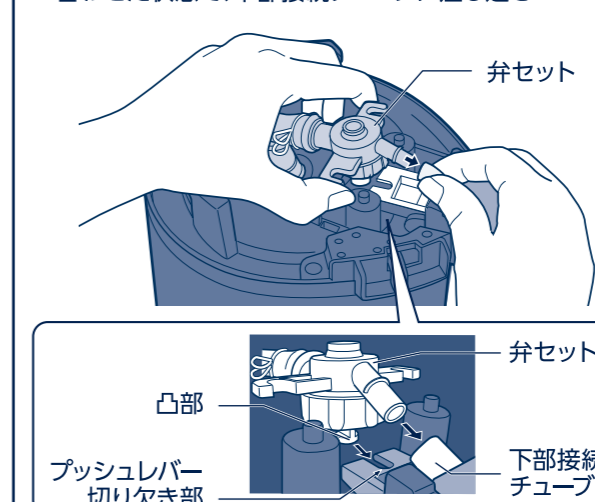
6 弁セットをジョイントシールゴムに差し込む

- ①4で組み立てた弁セットをジョイントシールゴムに差し込む
- ②止め具を矢印の方向にずらして固定する



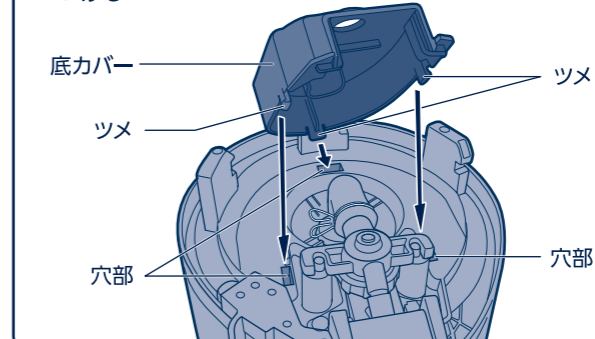
7 下部接続チューブに弁セットを差し込む

- 弁セットの凸部をプッシュレバー切り欠き部に合わせた状態で、下部接続チューブに差し込む



8 底カバーをつける

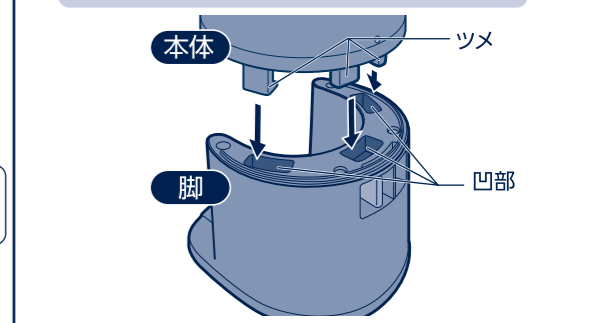
- 底カバーのツメ(3カ所)を本体穴部(3カ所)に合わせ、つける



9 本体を脚につける

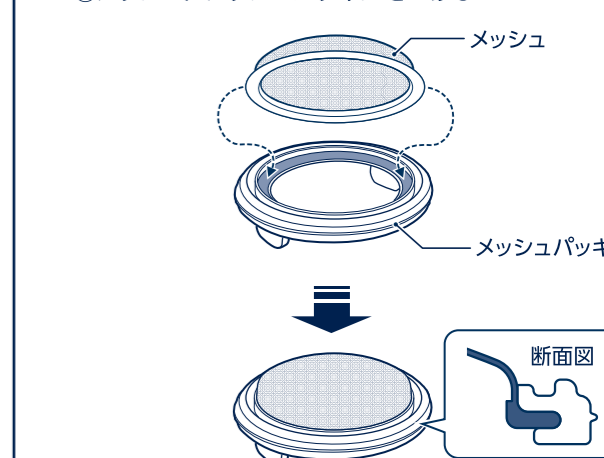
- 本体の向きを元に戻し、本体底部のツメ(3カ所)と、脚の凹部(3カ所)を合わせて上から差し込む

- 脚背面の脚レバーが「カチッ」と音がして、確実に戻るまで差し込んでください。

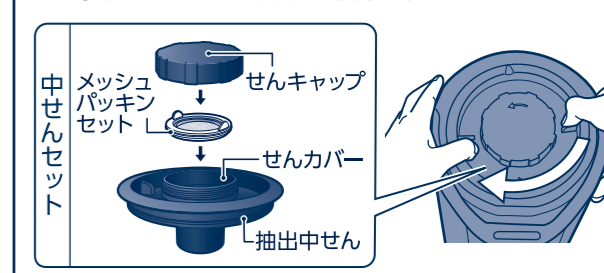


10 中せんセットをつける

- ①メッシュにメッシュパッキンをつける



- ②メッシュパッキンセットをせんカバーにつけ、せんキャップをつける
- ③中せんセットを矢印の方向に最後まで回し、つける



11 本体に水を入れ、プッシュレバーを押し、正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認する